

しんしゅんたいだん
新春対談

よこはまし
市長

よこはま
横浜ビー・
コルセアーズ

やまなか
たけはる
山中竹春

かわむら
ゆうき
河村勇輝
選手

よこはま
横浜から世界へ
夢にむかってすすもう！

ゆめ

誠行社

onedo
ワンド株式会社

SOUTHERN
INTERNATIONAL

たいだん
対談記事は
2・3ページへ

©KEI TANIGUCHI

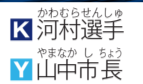
よこはま
横浜ビー・コルセアーズ
かわむらゆうき
河村勇輝選手

しんしゅんたいだん
新春対談

よこはま しちょう
横浜市長
やまなかたけはる
山中竹春

あけましておめでとうございます。

よこはま
横浜ビー・コルセアーズ、そしてFIBAバスケットボールワールドカップ2023でも活躍する河村選手と、
よこはま
横浜のこと、食べることの大切さ、そして新しい年の目標について話し合いました。



あつ
熱くあたたかい応援にパワーを
もらっています!

—去年のワールドカップでは、48年ぶりに、自分たちの力でオリンピックの出場権を獲得しました。おめでとうございます。

K ありがとうございます。緊張しましたが、どの試合でも、「ぜったい勝てる」という自信をもって戦いました。世界のトップレベルの選手との力のちがいを感じた試合もあったので、もっとうまくなり、強くなりたいという気持ちで、今はBリーグの試合にチャレンジしています。

Y ほんとうにすばらしい活躍でした。河村選手のすごさを見て、横浜市民のみなさんも大きな勇気と元気をもらったと思います。

—「横浜」にどのようなイメージがありますか。

K 横浜に来る前は、大都市だから、すごく都会なのかなというイメージがありました。でも住んでみると、都会なのに、海がきれいで自然がゆたかだなと感じました。横浜市民のみなさんは、とてもあたたかくて、特にビーコルプスター（ファン）は、どんな時よりもってて応援してくれるのでありがたいです。



Y 横浜には、バスケットボールのほか、野球・サッカー・ラグビーなど、13ものトップスポーツチームがあります。だから市内のスタジアムやアリーナをととのえて、市民のみなさんがスポーツを観たり楽しんだりする環境をしっかりとつくりたいと思っています。スポーツを楽しむことは健康にもいいですし、地域で世代をこえたつながりができます。市民のみなさんの毎日の暮らしをゆたかにしていきたいです。選手のみなさんにも、スポーツしやすい環境だなと思ってもらえたらうれしいですね。

バスケットボールへの思い

—バスケットボールを始めたきっかけを教えてください。

K バスケットボール選手だった父の影響で、6歳の時に始めました。家の庭にリングもあったので、小さいころから

いちばん
一番みぢかな遊びのひとつだったんです。練習がきついと感じたことや、思いどおりのプレーができなくて苦しい時もありましたが、やめたいとか、きらいになることは一度もなかったです。バスケが大好きで、うまくなりたいと毎日すごしてきました。

—バスケットボールを続ける中での夢や目標、また、プロ入りを決意した時のことなどを教えてください。

K 日本のポイントガードとして世界の舞台に立つことは大きな目標でした。大学をやめてプロに転向する時はなやみましたが、バスケに集中する時間をふやせるのは、精神的にも大切なことです。体のケアやトレーニングにも時間をしっかり使って、プレーやコンディションの向上につなげていきたいと考え、決めました。

—河村選手にあこがれる子どもたちに、どんなことを伝えたいですか。

K 子どものころは、勝ち負けにこだわらず、とにかくバスケットを楽しんでいました。いま思うと好きで楽しめたからこそ、続けてこられたと思います。だから子どもたちには、自分の好きなこと、楽しいと感じたことを続けてほしいと思います。

Y 今回の日本代表での活躍は、まさに、横浜から日本一のスピードスターが世界にはばたいた、と感じました。現在の河村選手は、そういう考えや努力の積み重ねによって作られてきたのですね。河村選手のことばは、夢や目標にもむかってがんばっている子どもたちに力をあたえてくれそうですね。

ぶたい かつやく
世界の舞台で活躍するために

—チームや日本代表の活動の中で、さまざまな国の人とせつする機会があると思います。ふだんからとりにくっていることはありますか。

K 世界にはたくさんの考えかたがあって、自分あたり前だと思っていたことが、海外ではそうではないこともあります。文化や考えかたを理解して、おたがいに相手を大切にすることをいつも心がけています。そのためには、ことばがとても大切です。外国籍のチームメイトとは、がんばって英語で話します。彼らも日本語を覚えようとしてくれて、「がんばって」や「ありがとう」などのことばはよく使われています。

Y 私もアメリカで働いていたことがあるので、横浜から世界で活躍できる人たちに育てていきたいと強く思っています。世界のさまざまな文化や価値観、考えかたを理解して大切にできるようになるためには、わかいうちにそういう機会を持つことがとても大切です。そのためのツールとして、英語教育はたいへん大事です。

—「ヨコハマ・イングリッシュ・クエスト」という、いろいろな国のイングリッシュ・スピーカーと中学生が英語で交流するイベントを開いたそうですね。

Y 100人ぐらいの子どもたちが参加してくれて、英語やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとっているようですが、とても印象的でした。実際に体験して海外に興味を持つきっかけになる。そういう機会をつくるのが重要なんです。それから、国際理解教育の中で「よこはまこども国際平和プログラム」を行っています。その中のスピーチコンテストには毎年4万人も子どもたちが参加してくれます。その中からピースメッセンジャーに選ばれた子どもたちは、ニューヨークの国連本部を訪問するなど、さ



まざまな活動に熱心にとりこんでくれます。

K 4万人はすごいですね!しかも国連にも行けるなんて、子どもたちにとって貴重な経験になりますね。

Y そうなんです。自分から発信する機会というのがすごく大切ですね。これからも、熱意を持った子どもたちが、生きた英語にふれて、自分の考えを発表できる場をつつていきたいと思っています。

体づくりに大切なこと

—コンディションをととのえるために、毎日の生活の中でどんなことに気を付けていますか。

K 特別なことはぜんぜんしてなくて、一日3食しっかり食べる、バランスよく栄養をとるようにしています。あたり前のようで一番大切なことだと思っています。

Y 体づくりには、食べることはほんとうに大切です。よこはま市では、2026年4月から、中学校で全員給食を始めます。スポーツをがんばる中学生がたくさんいますから、たんぱく質をたくさんとれるメニューなど、専任の栄養士がくふうしてくれています。心も体も大きく成長する中学生の時期に、給食をみんなで楽しく食べることで、元気に活動するためのパワーの源になったらいいなと思っています。

K 運動・睡眠・食事、この3つはすごく大切だと思うので、中学生のみなさんにはいっぱい体を動かして、栄養素



もじゅうぶんとって、睡眠もしっかりとってほしいですね。ちなみに、ぼくは毎日8時間以上寝るようにしています。
Y 8時間ですか!ハードなトレーニングのほかに、体をじゅうぶん休めることも大切なんです。

未来に向けて—2024年の目標—

K まずは、Bリーグで優勝して、2024年は横浜ビー・コルセアーズの年だったと言われるような年にしたいです。そしてパリオリンピックの日本代表として活躍できるように、世界基準のバスケットボールを見てもらえるように、一日一日をむだにしないでがんばっていきなと思います。

Y 楽しみです! 2024年も市民のみなさんと一っしょに、河村選手と横浜ビー・コルセアーズを全力で応援していきます!

今年4月には、アリーナ施設「横浜BUNTAI」がいよいよオープンします。横浜ビー・コルセアーズのホームゲームも予定されています。スポーツ観戦やコンサート、

大規模イベントも楽しめる、新しい名所になると思います。また、公共の空間を生かしてまちのにぎわいや、市民のみなさんが楽しめる特別な空間をつくりくみしています。去年の秋には、山下公園前の通りを初めて歩行者天国にしました。その日には横浜ビー・コルセアーズのパブリックビューイングも行ったんですが、すごい熱気でした。

K それはうれしいです! 試合会場に来られない人や、ぐうぜん通りかかった人も、バスケットにふれる機会になる、すばらしいとくみですね。ありがとうございます。

Y そして、子どもたちが、河村選手のように夢にむかってがんばれる、みんながいきいきとすこやかに暮らせるまちになるように、全力をつくします。横浜のさまざまな魅力をもっとかかめて、「子育てしたいまち」「住みたい・住み続けたい」と感じてもらえるように、積極的にとりくんでいきます。

聞き手: 江口桃子さん / 写真: 谷口京さん
撮影協力: たきがしら会館 (磯子区)

プロフィール

かわむらゆうき 河村勇輝

2001年5月2日生まれ。山口県柳井市出身。福岡第一高校3年のときに特別指定選手としてBリーグデビュー。2020年4月、東海大学に入学。その年12月からは横浜ビー・コルセアーズで特別指定選手としてプレーし、2022年3月に大学をとちゅうでやめてプロになることを発表。2022-23シーズンは史上初のBリーグレギュラーシーズンMVPと新人賞を両方も受賞するなど、個人6冠にかがやいた。2023年8月のFIBAバスケットボールワールドカップ2023では、大会3位タイとなる7.6アシストで、パリオリンピック出場権獲得に大きく貢献。ポジション PG (ポイントガード※)



©B-CORSAIRS

※コート上の司令塔とも言われる。攻撃のときにチームに指示を出し、得点シーンを作る役割。

よこはま 横浜ビー・コルセアーズ NEWS

1月ホームゲーム日程

1月27日(土よう)・28日(日よう)
vs 島根スサノオマジック

1月31日(水よう)
vs シーホース三河

よこはまこくさい **横浜国際プール**
よこはましえいちかてつ (横浜市宮地下鉄グリーンライン 北山田駅から徒歩でおよそ5分)

最新情報や限定情報は **ビーコル公式サイトへ**

会場でお応えしよう! **B.LEAGUEチケットへ**

全試合ライブ&見逃し配信! **バスケットLIVE**

よこはま 横浜ビー・コルセアーズが練習に使っている「たきがしら会館」には、体育室、ホール、武道場、会議室があって、一般の人でも利用できます。利用するときは、4ページの市民利用施設予約システムからもうしこんでください。

広報紙を読むサービス カタログポケット

かわむらせんしゅ たいだん 河村選手との対談は **スマホでも読むことができます!**

ポップアップ機能で **大きな文字で読める**

おんせい 音声読み上げや **いろいろな言語の対応も!**

YOKOHAMA 1 **河村勇輝** **山中竹春**

横浜から世界へ **夢に向かって躍動!**

◀かわいいことはこちらから

広報よこはまPlusでは、横浜ビー・コルセアーズの魅力やとりくみについて読むことができます。



スマホだけでかんたん手続き！！

横浜市では、行政サービスをもっと便利に、もっと自由にデザインするという考えで、利用者が多い100の手続きを中心に、オンライン化を進めています。

ここでは、その一部を紹介します。



あなたの時間をお返す

横浜DIGITAL窓口

ここで紹介する手続きをまとめたサイト。かんたんに、それぞれのページにアクセス

きくところ デジタル統括本部企画調整課
TEL: 045-671-4797
FAX: 045-550-3610



詳しいことはこちら



1月15日(月)から 本さがし、本えらびが楽しくなる！ としかんじょうほう 図書館情報システムリニューアル

デジタル図書館カード

ログインすると、メニューから図書館カードが表示できます。(スマートフォン版だけ)



スマホで借りられる！

Web書棚

検索した本や関係がある本が本棚にならんでいるように表示されるので、えらびやすくなります。



STEP 1

タイトルなどを入力し、検索をクリック



STEP 2

本をえらんだ後、右下のWeb書棚のアイコンをクリック



イメージ図

日本で初めて！ 蔵書探索AI

思いついた文章やことばを入力すると、それに関係する本をAIが教えてくれます。

このほか、オンライン利用者登録もできます。横浜市LINE公式アカウントともつながります。



詳しいことはこちら

きくところ 中央図書館企画運営課 TEL:045-262-7334 FAX:045-262-0052



粗大ごみ収集シールがいらなくてすりょう手数料がネットではらえる

STEP 1

申し込み画面で「キャッシュレス決済」を選ば

STEP 2

受付完了メールにあるURLから支払い手続き ※クレジットカードまたはPayPayが使えます。

STEP 3

縦横10cm以上の紙に6桁の受付番号を書いてはりつける



これまでと同じように粗大ごみ収集シールを使って出すこともできます。



詳しいことはこちら

きくところ 資源循環局業務課 TEL:045-671-3815 FAX:045-662-1225



スポーツセンターや区民文化センターなどの利用が便利に！

本人確認や登録料の支払いがウェブでできるようになりました。オンラインだけで登録手続きができます。

ログインした後、メニューから利用者証も表示できます。



予約システムはこちら

きくところ 市民利用施設予約システムサービスセンター
TEL: 050-2018-9880
FAX: 050-1704-1942



スマホ以外でも便利に手続きができる 住民票はコンビニがお得！

マイナンバーカードがあれば、区役所に行かなくても、全国のコンビニで住民票がとれます。窓口よりも50円やすくなります。



詳しいことはこちら

きくところ 市民局窓口サービス課 TEL:045-671-2176 FAX:045-664-5295



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今月は横浜消防のあゆみと横浜市消防音楽隊についてです。

Web版では、抽選で読者プレゼントがあります

横浜消防のあゆみと音楽隊 — 躍進・明るい未来へ —

横浜市市民防災センター（消防音楽隊担当） 永峯 義典

もっと
楽しい話は
こちら



お正月といえば出初式。俳句の季語にもなっています。横浜消防出初式2024は、1月7日(日よう)に行われて、今年も横浜消防の消防の力や災害に立ちむかう力をみなさんに見せます。横浜消防は、1859年に横浜港が開かれたころ、民間の消防組ができたのが始まりです。つぎの年には最初の出初式も行われました。1871年には英国から輸入された蒸気消防ポンプが配置されて、横浜は近代の消防が生まれたところといわれています。1914年には日本で初めての消防車、1933年には消防機関として日本で初めて救急車が配備されました。このように横浜消防はいつも時代の

最先端で、市民のみなさんの安全・安心をまもってきました。その横浜消防の活動をみなさんに知らせることを仕事の1つにしているのが、横浜市消防音楽隊です。



▲1958年にできた横浜市消防音楽隊

消防音楽隊は、1958年に横浜開港100周年、市政70周年を記念してつくられました。市内のあちこちで演奏・演技をして、防災についての知識を広める活動を行います。また、横浜開港記念みなと祭「ザよこはまパレード」や港に入る大型客船の歓迎式、横浜マラソンなどで、練習をかさねた演奏・演技をみなさんに見せるなど、横浜のシティプロモーションもしています。そして、市内の中学生のために楽器指導ワークショップを開くなど、子どもたちの創造性を育て、文化芸術を発展させるために、わかい人を育てるプログラムにも力を入れています。

今年の3月16日(土よう)には、これまでのみなさんからの応援に感謝して、「躍進～明るい未来へ～」というテーマで創設65周年記念演奏会を開きます。1982年にできた消防音楽隊のドリルチーム「ポートエンジェルズ119」の新しいパレード服も見られます。音楽隊の全員が、みなさんに会えるのを楽しみにしています。



くわしいことは
こちら

きくところ 横浜市市民防災センター TEL:045-312-0119 FAX:045-312-0386



GREEN×EXPO 2027

2027年国際園芸博覧会

「ヨコハマ未来創造会議(仮の名前)」キックオフイベントを行いました



横浜市は、「ヨコハマ未来創造会議(仮の名前)」を立ち上げます。これはGREEN×EXPO 2027をきっかけにして、20年、30年先の社会で活動する大学生や企業の若い社員など若者が集まって、話し合い、アクションをおこすための会議です。この会議を始めるために、会議の考えかたや、若い人への期待などを共有し、盛り上げていくために、キックオフイベントを開きました。およそ100人が参加しました。

これからは、会議をつうじて、若者の新しい感性やアイデアを将来の横浜につないでいきます。



くわしいことは
こちら

秋元真夏さんが「GREEN×CAPTAIN」に就任しました！

グリーンキャプテンに就任しました！

「GREEN×CAPTAIN」になって、とても光栄です。「ヨコハマ未来創造会議」に参加するつぎの世代の若者たちといっしょに、しっかりと役割を果たしていきます。

人と人、ものともをつないでいくのがキャプテンのしごとだと私は思います。今ある横浜の魅力と、みなさんのアイデアをしっかりと結んで、新しい横浜の未来につないでいきます。



きくところ 都市整備局国際園芸博覧会推進課 TEL:045-671-4627 FAX:045-212-1223